

# e-Piano ジュニア 2011: コンクール (ミネソタ USA)

コンクールは2011年7月1日午後1時に出演順の抽選会をもって開始される。この出演順は、音楽監督の裁量、特別な情状酌量できる状況、もしくはファイナルでのプログラム上の配慮による以外は継続される。それぞれのコンテストには練習時間が割り当てられる。

コンクールでの演奏は2011年7月2日に、ミネソタ州セント・ポールのハムライン大学サンディン音楽ホールにて開始される。コンテストの演奏は国際的な審査員団により審査される。

プログラムの演奏曲順はコンテストが決定できる。制限時間をオーバーしないかぎり演奏の途中で制止されることはない。全ての演奏は暗譜で行わなければならない。

## 一次予選(演奏時間 25 分以内)、2011 年 7 月 2-3 日、24 人以内が参加

1. パッサージュ: 平均率クラヴィア曲集第1巻または第2巻から前奏曲とフーガを1曲、もしくはシンフォニア1曲、もしくは6曲のイギリス組曲から前奏曲1曲。
2. 古典派のソナタ(Beethoven, Clementi, Haydn or Mozart)の1楽章。応募時のCD、バーチャルオーディションで演奏するものと同一で可。
3. 次の作曲家の難易度の高いエチュード1曲:  
Bartok, Chopin, Kapustin, Ligeti, Liszt, Mendelssohn, Moszkowski, Prokofiev, Rachmaninoff, Scriabin or Stravinsky.  
応募時のCD、バーチャルオーディションで演奏するものと同一で可。
4. 自由選択曲 1曲

12名の二次予選出場者名は一次予選二日目の最後にサンディン音楽ホールステージ上で発表。

## 二次予選(演奏時間 30 分以内)、2011 年 7 月 5 日、12 名以内が参加

1. シューベルトのアンプロンプチュ作品90か142から1曲、もしくは「楽興の時」作品94。
  2. 1880年以降生まれの作曲家の作品1曲。
  3. 残りのプログラムはコンテストの自由選曲。
- 9名のセミファイナル出場者名は二次予選終了後にサンディン音楽ホールステージ上で発表。

## セミファイナル(演奏時間 40 分以内)、2011 年 7 月 6 日、9 名が出場

1. ベートーヴェンのバリエーション(WoO80)か、メンデルスゾーンの「厳格なる変奏曲」作品54。
  2. 残りのプログラムはコンテストの自由選曲。セミファイナルでは少なくとも二つの異なった様式の楽曲を演奏する必要がある。
- 5名のファイナル出場者名はセミファイナル終了後にサンディン音楽ホールステージ上で発表。

## ファイナル、2011 年 7 月 8 日 5 名が出場

次のピアノ協奏曲のうち1曲の1楽章のみ。

Bartok No. 3	Rachmaninoff Nos. 1 through 4
Beethoven Nos. 1 through 5	Ravel G Major
Chopin No.1 or No.2	Saint-Saens No. 2
Grieg A Minor	Schumann A Minor
Mozart (excluding KV 37, KV 39, KV 40, KV 41, KV 413, KV 414, KV 449)	Shostakovich No. 2
Prokofiev No. 2 or No. 3	Tchaikovsky No. 1 or No. 2

協奏曲はオーケストラホールにおいてミネソタ管弦楽団との共演で演奏される。それぞれのファイナリストはオーケストラとのリハーサル時間を割り当てられる。曲目は応募時の録音と同一でなければいけない。

入賞者は2011年7月8日の夜オーケストラホールで行われる表彰式の席上で発表される。優勝者以外のファイナリストは短いソロ曲を弾くように要求される。優勝者は表彰式に引き続き行われるガラコンサートでミネソタ管弦楽団と共に協奏曲を再演する。

コンテストはコンクール参加中には審査員や音楽監督にコンタクト、会話はならない。この規則に反したものは参加資格を剥奪される。

e-Piano ジュニアコンクールは後ほどの放送の為にビデオ収録と録音される。コンクールの全てのステージはインターネットにより放送され、また [www.piano-e-competition.com](http://www.piano-e-competition.com) にてアクセス可能になる可能性がある。全ての録音・録画の著作権はミネソタ国際 Piano-e コンクールに排他的に所有される、またその録音・録画の対価は支払われない。